



教育長あいさつ

青梅市教育委員会 教育長 橋本 雅幸

第三小学校は、2年間にわたり、青梅市教育委員会研究指定校として研究を進めてまいりました。

研究主題「やっちゃんえ三小～自走する子供と大人のいる学校づくり～」のもと、児童の「振り返り」を軸に授業を構成していくことを中心に、指導の工夫・授業改善に取り組みました。それを意図的・計画的に実現するために「やっちゃんえ授業」として、学校全体で200本の授業公開を目指して、日常的に授業者と参観者が意見交換をするとともに、児童の頑張りや成長を共有してきました。こうした取組により、児童が身に付けた力に対して効果的な評価が可能になり、児童の自己実現への欲求を高めることにもつながったことと思います。

本研究を推進されました八木慎一校長をはじめ、教職員の方々、御指導、御助言を賜りました講師の先生方、これまで本校の取組を支えていただいた保護者や地域の方々に深く感謝を申し上げます。

校長あいさつ

青梅市立第三小学校 校長 八木 慎一

教師という仕事は児童の成長に関わることでできる“未来をつくる仕事”です。多くの教師がプライドをもって、教育活動に取り組んでいます。学校という教師集団が日々の教育活動を充実させることで、児童は成長し、自分に自信をもつことができます。成長を実感し、自己肯定感を高めた児童の姿を通して保護者は教師の力を信頼します。保護者の教師への信頼は児童の教師への信頼をより強め、良い信頼のサイクルが築かれます。本校では児童の自己肯定感を高めることを主眼に研究に取り組んできました。私は、「児童の可能性を最大限に引き出し、伸ばし、将来の選択肢を広げ、社会をより良く幸せに生きる人間に育てる」ことが公立小学校の使命であると信じています。教師のなり手不足等が報道され、教師という職業がやりがいのない仕事であるかのように思われつつある今こそ、学校の底力を発揮する時です。やっちゃんえ三小！

青梅市立第三小学校